

平成 24 年度

裾野市「事業評価」報告書

平成 24 年 10 月 22 日

裾野市行政改革推進委員会

目 次

1.	はじめに		
2.	個別事業評価結果		
		①高齢者医療費助成事業	P 1
		②保育園運営事業 私立保育園運営事業	P 2
		③幼稚園管理運営事業 裾野市私立幼稚園授業料等負担軽減 事業費補助金	P 4
		④生涯学習センター管理事業	P 6
		⑤学校体育施設開放運営事業	P 7
		⑥区運営費補助事業 分別収集奨励事業	P 8
		⑦市内公園等の維持管理事業	P 1 0
		⑧裾野市夏まつり補助事業 観光振興事業	P 1 2
		⑨普通財産管理事業	P 1 4
		⑩市営墓地事業	P 1 4
3.	結果のまとめ		P 1 5

はじめに

～事業評価を総括して～

事業担当課による説明は、平成 23 年度と比較し、対象事業に関して事前配布された資料は、他市町との比較、現状、今後の展開などについて、よく準備をされていましたが、詳細にすることで複雑になってしまうケースも見受けられました。また、関係団体の事業内容や補助事業の全体像をとらえることにも努められておりました。

また、担当部署がシミュレーション資料で分かりやすくする工夫もあり、真摯な態度で臨んでいただいていると感じました。

今回対象となった事業につきましては、単に事業費縮減をも追求するものではなく、個々の事業の評価を通じ、目的達成のための方策、目指す方向について踏み込み、その結果として事業費縮減効果にもつながるという観点に立って討議、判定をしております。

そのため、個々の事業に踏み込んで判定する場合もありましたが、基本的には、複数の事業、あるいは今回の対象とならなかった事業も考慮した中で、事業の方向性、考え方及びそれらの改善等に重点をおいて討議を進めました。一つ一つの事業が、大きな目的を持ち、同時に多くの課題を抱えている状況が可視化され、当委員会としても市民の感覚、民間の感覚を大切に事業が進められるよう期待するところです。

今後、事務事業については、市民への公開、透明化を高めるとともに、職員一人ひとりの意識改革を行い、市の事業が「市民のためにある事業である」という原点に立ち、併せて住民間、世代間等の公平性の観点から、事務事業のより一層の改善、場合によっては事業の廃止も含め、行政自らが対処していただくことが必要です。当面の経済状況と財政状況を考慮すれば、自ずと事業の取捨選択が迫られており、施策目的を達成するための手法や方針転換もやむを得ないことを認識すべきときです。必ずしも無駄ではない事業であっても、優先度を測り、できるときにやる事業とやらねばならない事業という判別とできる 때가来たら実施するという柔軟な考え方をしていただきたいと思います。

この事業評価については、他の自治体では、事業仕分けとしてさまざまなスタイルで実施されております。また、住民の代表として、富士市や藤枝市においては、市議会が同種の評価を実施しています。

事業仕分けは、公開の場で、市民を含む仕分け人が事業の無駄を指摘するとともに、市民の行政参加の意識改革を図る目的を有していると言われております。一方、今回の事業評価については、非公開としておりますが、本来あるべき姿は、専門家や一般市民に委ねるべきものではなく、行政自身（首長）が自

己責任により、行政経営の観点から事業改廃を判断すべきであり、さらには、市民の代表者である議会が実施すべきとの考えによるところです。

今回の事業評価も当委員会から報告書を提出し、国や他の自治体で実施している事業仕分けのように、最終判断は市長が行うこととなっています。

この事業評価結果につきましては、昨年と同様のとりまとめとしておりますが、討議内容を含め、昨年とは趣を異にしておりますので、その点を十分に汲み取っていただき、取り組んでいただきますよう期待します。

なお、個別の事業に対する評価、意見の詳細につきましては、1ページ以降に掲載しております。

まだまだ、見直しが必要な事業はあると思いますが、効果的で、効率的な事業実施のためには、制度そのものを抜本的に見直す必要もあると考えております。市では中期財政計画を作成し、経常経費の削減、個別の事業費の査定、事業の先送りなど、収支均衡に取り組んでいることと思いますが、各種基金からの繰り入れ、起債など財政的な手法によるのみでは限界があります。

行政内部の議論はもとより、市民、学識者などから多角的、専門的な意見を幅広く聴取し、市議会における討議を経て大胆な制度改革を成し遂げていただきたいと思っております。

この結果が、次年度以降の予算に反映され、財政の健全化に資するとともに、今後の事業実施にあたり、市民、議会、行政の三者が、それぞれ「事業の選択と集中」の意識を高め、より一層効率的な行財政運営が図られることを期待します。

平成24年10月

裾野市行政改革推進委員会

委員長 山口 郊治郎

2. 裾野市事業評価結果

日／班名	1日目 A班	時間	13:40～14:40
評価番号	1	担当部署	社会福祉課
事業名	高齢者医療費助成事業		
事業費	平成24年度予算45,662千円(内一般財源45,662千円)		
事業評価結果		評価人数	
区分	(1) 廃止	3	
	(2) 休止		
	(3) 大幅な縮小	方法変更・事業統合	2
	(4) 小幅な縮小	方法変更・事業統合	
	(5) 実施方法の変更		
	(6) 他の事業に統合		
	(7) 継続 現行どおり		
	(8) 継続 充実 拡大		
【事業評価区分に係る意見】			
<p><縮小・変更></p> <ul style="list-style-type: none"> ・いい制度であっても、高齢者の増加に伴い、費用も年々増加しており、見直さなければならない。 ・助成制度を維持するにしても、支給対象年齢や支給額の見直し等が必要である。 <p><廃止></p> <ul style="list-style-type: none"> ・将来の財政負担を考えると、大変な事業である。市民からの意見がないと、やめるきっかけがないのではないか。 ・医療費に助成するよりも、元気に活動するための生きがいをづくりに投資してほしい。 ・たとえば、格安の検診など、予防に力を注ぐことが先決ではないか。 			
【班としての全体意見】		(1)廃止	
<ul style="list-style-type: none"> ・財政事情に余裕があったからこそ、実施できた事業ではないか。 ・節減した財源で予防事業を充実させるべきである。 			

日/班名	1日目 A班	時間	14:50~15:50
評価番号	2-1	担当部署	子ども教育課
事業名	保育園運営事業		
事業費	平成24年度予算584,887千円(内一般財源360,226千円)		
事業評価結果		評価人数	
区分	(1) 廃止		
	(2) 休止		
	(3) 大幅な縮小	方法変更・事業統合	
	(4) 小幅な縮小	方法変更・事業統合	3
	(5) 実施方法の変更		2
	(6) 他の事業に統合		
	(7) 継続 現行どおり		
	(8) 継続 充実 拡大		
【事業評価区分に係る意見】			
<p><縮小></p> <ul style="list-style-type: none"> ・他市町と比較して、当市の保育料は相当低い水準であり、保護者に応分の負担を求めるべきである。 ・平成21年に一律2000円減額措置をとったことは、かえって不公平でもある。 ・入園希望者の保護者の状況は、必ずしも保育園本来の目的とは合致していない方もいる。 <p><変更></p> <ul style="list-style-type: none"> ・他市町の方が子育てしやすい町として評価を得ているが、インフラ整備の差だけでなく、当市の保育料が安いことをPRすることも必要ではないか。 ・私立保育園の特色を希望して選択している人もある中で、同額の保育料とすることが妥当か疑問である。 			
【班としての全体意見】		(4)方法変更を含む小幅な縮小	
<ul style="list-style-type: none"> ・他市町の保育料や国の基準に照らして、保育料水準を検討し、適正な金額に引き上げるべきである。 ・私立保育園への補助内容も見直すべきである。 			

日／班名	1日目 A班	時間	14:50～15:50
評価番号	2-2	担当部署	子ども教育課
事業名	私立保育園運営事業		
事業費	平成24年度予算315,000千円(内一般財源91,250千円)		
事業評価結果		評価人数	
区分	(1) 廃止		
	(2) 休止		
	(3) 大幅な縮小	方法変更・事業統合	
	(4) 小幅な縮小	方法変更・事業統合	2
	(5) 実施方法の変更		2
	(6) 他の事業に統合		
	(7) 継続 現行どおり		1
	(8) 継続 充実 拡大		
【事業評価区分に係る意見】			
<p><縮小></p> <ul style="list-style-type: none"> ・公立の保育料と同水準とすることに妥当性があるか。 ・公立の保育料を見直し、それに合わせて縮減するべきである。 <p><変更></p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助の対象や基準を検討する必要がある。 			
【班としての全体意見】		(4)方法変更を含む小幅な縮小	
<ul style="list-style-type: none"> ・公立保育園の保育料の見直しに合わせて、補助金額、補助対象を含めて補助の在り方を検討する必要がある。 ・私立保育園における補助金の使われ方も含めて精査すべきではないか。 			

日／班名	1日目 A班	時間	16:00～17:00
評価番号	3-1	担当部署	子ども教育課
事業名	幼稚園管理運営事業		
事業費	平成24年度予算 279,181千円 (内一般財源 230,679千円)		
事業評価結果		評価人数	
区分	(1) 廃止		
	(2) 休止		
	(3) 大幅な縮小	方法変更・事業統合	
	(4) 小幅な縮小	方法変更・事業統合	2
	(5) 実施方法の変更		1
	(6) 他の事業に統合		
	(7) 継続 現行どおり		2
	(8) 継続 充実 拡大		
【事業評価区分に係る意見】			
<p><縮小></p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業料のアップを小幅にする。 <p><変更></p> <ul style="list-style-type: none"> ・募集の体系を変えるべきではないか？縦割りにする等3歳児対策をすべきではないか。 ・公立幼稚園の統合、幼稚園保育園の一体化も併せて検討すべきである。 ・3歳児の待機児童の解消と4、5歳児の定員割れの対策に早急に取り組むべきである。 ・待機児童解消を私立に頼りすぎるのは、いかがなものか。複式学級のような形態をとることはできないか（他県に例がある）。 <p><継続></p> <ul style="list-style-type: none"> ・運営形態を見直してほしいが、授業料は現状でよいのではないか。 			
【班としての全体意見】		(4)方法変更を含む小幅な縮小	
<ul style="list-style-type: none"> ・公立の臨時職員の割合が高く、待遇面で正規職員との間に大きな差があることに問題があるのではないか。私立幼稚園の状況を踏まえて、検討すべき課題である。 			

注) 事業費には、職員給与、臨時職員賃金を含む。

日／班名	1日目 A班	時間	16:00～17:00
評価番号	3-2	担当部署	子ども教育課
事業名	裾野市私立幼稚園授業料等負担軽減事業費補助金		
事業費	平成24年度予算 17,921千円 (内一般財源 17,921千円)		
事業評価結果		評価人数	
区分	(1) 廃止		
	(2) 休止		
	(3) 大幅な縮小	方法変更・事業統合	1
	(4) 小幅な縮小	方法変更・事業統合	2
	(5) 実施方法の変更		1
	(6) 他の事業に統合		
	(7) 継続 現行どおり		1
	(8) 継続 充実 拡大		
【事業評価区分に係る意見】			
<p><縮小> (方法検討含む)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公立授業料のアップと連動して縮小する。 ・私立は特性を持った幼児教育を行っており保護者の選択理由も様々であるので公立と同じ授業料負担にする必要はない。 <p><変更></p> <ul style="list-style-type: none"> ・将来的に公立から私立へのシフトを考えたかどうか。 ・補助金を保護者の負担軽減という考え方から、幼稚園に対する補助を重視する方向に転換した方が良いのではないか。 ・私立を補助して、公立を縮小する考えはどうか。 			
【班としての全体意見】		(4)方法変更を含む小幅な縮小	
<ul style="list-style-type: none"> ・単純比較はできないが、教育目標や開園時間帯など、公立と私立との相違点を考慮すべきではないか。 ・公立、私立双方の職員の配置体制、定員に対する在園者の割合などの現状及び公立幼稚園の統廃合方針を踏まえ、補助金交付のあり方を検討すべき。 			

日/班名	1日目 B班	時間	13:40~14:40
評価番号	4	担当部署	生涯学習課
事業名	生涯学習センター管理運営事業		
事業費	平成24年度予算 20,472千円 (内一般財源 18,430千円)		
事業評価結果		評価人数	
区分	(1) 廃止		
	(2) 休止		
	(3) 大幅な縮小	方法変更・事業統合	
	(4) 小幅な縮小	方法変更・事業統合	
	(5) 実施方法の変更		5
	(6) 他の事業に統合		
	(7) 継続 現行どおり		
	(8) 継続 充実 拡大		
【事業評価区分に係る意見】			
<p><変更></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 保守点検などの委託について、施設内でまとめられるものはまとめるなどコストを抑える工夫ができないか。他施設との一括契約なども検討できないか。 ・ 受付業務では夜間受け付け体制の見直しや、インターネット受付の導入などの工夫でコスト削減ができないか。 ・ パソコン室の稼働率が高くないとのこと。機器の入れ替えを要する施設のため、必要性含めて検討が必要ではないか。 ・ 施設管理の観点からも、稼働率を上げるメニューの企画をさらに頑張ってもらいたい。マンパワーやコストをかける以上、企画事業を拡大してほしい。 			
【班としての全体意見】		(5)実施方法の変更	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 管理料縮減の検討が必要ではないか。特に委託料の方法論の検討による縮減の余地はあるのではないか。縮減幅は1割とする。 ・ 総費用に対する使用料収入が少ない。使用料の改定について検討が必要ではないか。 			

日/班名	1日目 B班	時間	14:50~15:50
評価番号	5	担当部署	生涯学習課
事業名	学校体育施設開放運営事業		
事業費	平成24年度予算 10,489千円 (内一般財源8,269千円)		
事業評価結果		評価人数	
区分	(1) 廃止		
	(2) 休止		
	(3) 大幅な縮小	方法変更・事業統合	4
	(4) 小幅な縮小	方法変更・事業統合	
	(5) 実施方法の変更		1
	(6) 他の事業に統合		
	(7) 継続 現行どおり		
	(8) 継続 充実 拡大		
【事業評価区分に係る意見】			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業費のほとんどが人件費で、自主管理方式で早期に縮小が可能ではないか。 ・ 自主管理方式の導入には、使用者の意識向上が必要。 ・ 使用料は、総事業費を念頭に再検討が必要ではないか。 			
【班としての全体意見】		(3)方法変更による大幅な縮小	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 自主管理方式を支持し、移行を前提に事業費の大幅な縮小とする。 ・ 移行にあたってはマニュアル策定などきめ細かな対応が必要。 ・ 使用料設定の見直しも必要でないか。 			

日／班名	2日目 A班	時間	14:50～15:50
評価番号	6-1	担当部署	地域振興課
事業名	区運営費補助事業		
事業費	平成24年度予算 30,750千円 (内一般財源 30,750千円)		
事業評価結果		評価人数	
区分	(1) 廃止		
	(2) 休止		
	(3) 大幅な縮小	方法変更・事業統合	1
	(4) 小幅な縮小	方法変更・事業統合	
	(5) 実施方法の変更		3
	(6) 他の事業に統合		
	(7) 継続 現行どおり		
	(8) 継続 充実 拡大		1
【事業評価区分に係る意見】			
<p><大幅な縮小></p> <ul style="list-style-type: none"> ・複数の補助金を統合し、区の自由裁量にゆだねることで、効率的で無駄のない補助金となる可能性がある。 <p><実施方法の変更></p> <ul style="list-style-type: none"> ・行政主導で行政区の統合を進め、補助対象者も合理化することで、区、市の双方が効率的な運営ができるのではないか。 ・補助金の統合、一括交付の検討を進めるべきである。 ・媒体が発達してきており、区に依頼してきた事務補助についても、行政が負担できる事務を検討してほしい（各種委員の選出、情報の周知など）。 <p><継続・充実></p> <ul style="list-style-type: none"> ・単純に他市町と比較できないが、区長の出役が多く、活動にも限界がある。行政が行う部分を増やすことができないか。 			
【班としての全体意見】		(5)実施方法の変更	
<ul style="list-style-type: none"> ・行政側のやり方を変えること、事務的に統合することなどにより、区の負担を減らせるのではないか。 ・一括交付により、行政・区の双方の負担軽減になり、各区においては重点を置くことに使うことができる。 			

日／班名	2日目 A班	時間	14:50～15:50
評価番号	6-2	担当部署	生活環境課
事業名	分別収集奨励事業		
事業費	平成24年度予算 6,383千円 (内一般財源6,383千円)		
事業評価結果		評価人数	
区分	(1) 廃止		
	(2) 休止		
	(3) 大幅な縮小	方法変更・事業統合	
	(4) 小幅な縮小	方法変更・事業統合	1
	(5) 実施方法の変更		2
	(6) 他の事業に統合		1
	(7) 継続 現行どおり		
	(8) 継続 充実 拡大		1
【事業評価区分に係る意見】			
<p><方法変更・統合></p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業目的は理解できるが、所期の目的が達成された点もあると思う。 ・目的別に交付されている補助金等の中には、予算消的に使われているケースもあると思われるので、区の自由度を高める一括交付を進めるべき。 ・他市町の例を参考に、区長と市の双方の事務負担を軽減する方向で、一括交付を検討すべき。 ・資源化量による交付など、市町によって交付額の算定根拠が異なる。世帯割という交付は少ないのではないか。 <p><小幅な縮小></p> <ul style="list-style-type: none"> ・当初の報償的な考えから一律交付も理解できるが、金額として妥当かどうか。 			
【班としての全体意見】		(5)実施方法の変更	
<ul style="list-style-type: none"> ・区運営費補助金との一括交付により、行政・区の双方の負担軽減と、区の裁量で重点を置くことに使うことができるよう検討すること。 			

日／班名	1日目 B班	時間	16:00～17:00
評価番号	7	担当部署	都市計画課
事業名	市内公園等の維持管理事業		
事業費	平成24年度予算 18,226千円 (内一般財源 18,226千円)		
事業評価結果		評価人数	
区分	(1) 廃止		
	(2) 休止		
	(3) 大幅な縮小	方法変更・事業統合	
	(4) 小幅な縮小	方法変更・事業統合	
	(5) 実施方法の変更		5
	(6) 他の事業に統合		
	(7) 継続 現行どおり		
	(8) 継続 充実 拡大		
【事業評価区分に係る意見】			
<p><変更></p> <ul style="list-style-type: none"> 一部の都市公園では地元ボランティアでの維持管理が行われており、市民協働の体制作りや、委託先にNPOや自治会を含めることの検討などを進めるべきではないか。 企業や団体との連携も検討することができないか。 同じ都市公園でもコストや作業内容にバラつきがあり、公平といえるか。 			
【班としての全体意見】		(5)実施方法の変更	
<ul style="list-style-type: none"> 自分たちのまちは自分たちできれいにするという市民協働の体制作りが必要。 都市公園の市としての整備方針をまとめ、地区公園内でも市の顔になる公園や地区での利用が中心となる公園の分類や地区広場の対応との整合性を確保すべき。 地区での利用が中心となる公園の管理は受益者負担の観点から、少しずつ区との協力体制を築くとともに、市内での公平性を確保してほしい。 			

日／班名	2日目 B班	時間	13:40～14:40
評価番号	8-1	担当部署	商工観光課
事業名	裾野市夏まつり補助事業		
事業費	平成24年度予算17,870千円(内一般財源17,870千円)		
事業評価結果			評価人数
区分	(1) 廃止		
	(2) 休止		
	(3) 大幅な縮小	方法変更・事業統合	
	(4) 小幅な縮小	方法変更・事業統合	
	(5) 実施方法の変更		1
	(6) 他の事業に統合		1
	(7) 継続 現行どおり		3
	(8) 継続 充実 拡大		
【事業評価区分に係る意見】			
<p><方法変更・統合></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の主体が不明瞭。 ・ 補助対象の適切な事業運営に向けてチェック機能を果たすべき。 ・ 主たる目的は観光振興か、市民のためのまつりか方針を整理すべき。 ・ 花火が多ければ良いのか。花火の形態を変えることで会場を変更することも可能になるのか検討すべき。 <p><継続></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 現状では花火がメインであり、期待もあると考える。イベントの効果に花火がどのように結びついているのか検証作業が必要。 			
【班としての全体意見】		(7)継続 ただし手法は要検討	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 市民が期待する事業であり継続すべきだが、事業目的(誰を対象に何を意図するか)の再確認が必要。 ・ 実施方法や、理由はあるものの多額の繰越金を出している事業費運営について、手法の検討が必要。 ・ 一日の開催である夏まつりと観光振興事業との一体的な検討が望まれる。 			

日／班名	2日目 B班	時間	13:40～14:40
評価番号	8-2	担当部署	商工観光課
事業名	観光振興事業		
事業費	平成24年度予算 5,271千円 (内一般財源5,211千円)		
事業評価結果			評価人数
区分	(1) 廃止		
	(2) 休止		
	(3) 大幅な縮小	方法変更・事業統合	
	(4) 小幅な縮小	方法変更・事業統合	
	(5) 実施方法の変更		
	(6) 他の事業に統合		
	(7) 継続 現行どおり		
	(8) 継続 充実 拡大		5
【事業評価区分に係る意見】			
<p><拡大></p> <ul style="list-style-type: none"> 夏まつりは観光施策の一つに位置付けるのか。集客はどうか、市外からの集客はどうか。交流人口の増加につながっているか。夏まつりは単発のイベントで、観光キャンペーン事業との連動により観光振興の効果を生み、夏まつり単体では難しい経済効果を上げることにつながるのではないか。 市民が観光にどれだけの理解を示しているか分からない。市民へのアプローチも必要ではないか。 市内には、深良用水、富士山遊歩道（須山口登山歩道）、水ヶ塚、富士山資料館など資源はある。それらを磨いて観光資源として発信していくべきではないか。 			
【班としての全体意見】		(8)継続・充実・拡大	
<ul style="list-style-type: none"> 観光は裾野市にとっては新たな産業といえる。 観光の形態は変化が激しい。単発の祭事業や、日常的な観光振興策を分けずに一体的に検討していくべき。 しっかりとした検討があつて効果が見込まれば、予算を拡大して投下しても事業化する価値があるのではないか。 			

日／班名	2日目 A班	時間	13:40～14:40
評価番号	9	担当部署	総務管財課
事業名	普通財産管理事業		
事業費	平成24年度予算 5,947千円 (内一般財源 5,947千円)		
事業評価結果		評価人数	
区分	(1) 廃止		
	(2) 休止		
	(3) 大幅な縮小	方法変更・事業統合	
	(4) 小幅な縮小	方法変更・事業統合	
	(5) 実施方法の変更		4
	(6) 他の事業に統合		
	(7) 継続 現行どおり		
	(8) 継続 充実 拡大		1
【事業評価区分に係る意見】			
<p><実施方法変更></p> <ul style="list-style-type: none"> ・未利用財産の売却を進め、管理費用を縮減すること。 ・法改正により行政財産の貸し付けができるようになったことから、行政財産の管理部署にも財産の有効活用について指導することが必要である。 ・土地の無償貸し付けについて、概ね経緯及び公平性が理解できるが、一部無償貸し付けとすることに疑問がある。 <p><継続 充実></p> <ul style="list-style-type: none"> ・積極的に不要な財産を売却すること、未利用財産を活用して収入を得るという点で、充実、拡大の評価である。 			
【班としての全体意見】		(5)実施方法の変更	
<ul style="list-style-type: none"> ・赤十字病院への貸し付けは、他市町における赤十字病院に対する貸付状況を確認すること。 ・全体として、賃借料の設定は適正か。 			

日／班名	2日目 B班	時間	14:50～15:50
評価番号	10	担当部署	企画政策課
事業名	市営墓地事業		
事業費	平成24年度予算26,400千円(内一般財源18,434千円)		
事業評価結果		評価人数	
区分	(1) 廃止		
	(2) 休止		
	(3) 大幅な縮小	方法変更・事業統合	
	(4) 小幅な縮小	方法変更・事業統合	1
	(5) 実施方法の変更		4
	(6) 他の事業に統合		
	(7) 継続 現行どおり		
	(8) 継続 充実 拡大		
【事業評価区分に係る意見】			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 使用者の増加が鈍くなっているとはいえ、管理棟を早期に完成させることが、需要喚起に必要ではないか。トイレや管理棟を整備し、環境を整えるべき。 ・ 次に着手する3号墓域の募集も、現状のペースでは5,6年掛かる。事業計画について、整備方法、募集方法などあらゆる視点で検討が必要。 			
【班としての全体意見】		(5)実施方法の変更	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 管理棟の整備などにより魅力ある墓地づくりをすべき。そのことにより事業収入を確保していく発想が必要。 ・ 長期的な事業計画は不安要素といえる。一定の期間で民間活力の活用や、利用形態などについて様々な検討をする努力を惜しむべきではない。 			

3. 結果のまとめ

<結果>

民間、住民の視点により、2日間にわたり10事業（14事務事業）の評価を実施した結果（判定区分別）は下表のとおりです。

<事業評価区分別結果一覧>

①廃止	②休止	見直し				⑦継続 現行どおり	⑧継続 充実 拡大
		③大幅な 縮小 <small>(部分廃止含む)</small>	④小幅な 縮小	⑤実施方 法の変更	⑥他の事 業に統合		
1	0	1	4	6	0	1	1

1ページから前頁までに詳細に掲載されているとおり、14事務事業の評価は「廃止」が1事業、「大幅な縮小」が1事業、「小幅な縮小」が4事業、「実施方法の変更」が6事業、「現行どおり」が1事業、「充実・拡大」が1事業となりました。

14事務事業の内、12事業について見直しが求められた結果となり、85%の見直し率となりました。

